

### 布津庁舎の建て替えは

市長 複合化に取り組む。



吉岡 巖 議員

### 布津庁舎について

議員 布津庁舎はなぜ建て替えが進まないのか。原城跡世界遺産センターよりも早く事業計画が上がっていたはずでは。

市長 令和2年に作成した個別施設計画に基づき布津庁舎と布津公民館、布津図書室の複合化について検討を進めてきたが、検討に時間を要したため事業に着手することができなかった。そのため令和9年度からの第2期個別施設計画に再度盛り込み、複合化に取り組むこととしている。

議員 庁舎を統合し、庁舎管理費を削減し、雇用の場の安定のため職員を減らさず、行政サービスが低下しないようやり方が必要ではないか。

総務部長 支所の在り方、統合に関する在り方検討委員会の提言を受け、十分に検討する必要があると考える。人口減少に応じて職員数を減らしていかなくてはいけない現状もあると思う。これからはDXを含めたところで総合的に判断しながら検討する。

### 布津貝崎漁港について

議員 貝崎漁港の完成はいつになるのか。

農林水産部長 貝崎漁港の改良工事については、本年度までに沖防波堤の改良、突堤の新設、防風フェンス設置の外郭施設の改良が完成し、簡易浮桟橋の一部を設置する。今後の計画としては簡易浮桟橋延長170mを2年間で実施し、令和9年度に全ての工事が完成予定



改良工事中の貝崎漁港

### ヒジキの苗場について

議員 ヒジキの養殖が増えているが、繁殖範囲が少ない天然ヒジキがなくなっているために苗場の整備を要望していたが、その後どうなっているのか。

農林水産部長 ヒジキの養殖については、今現在、値段が安定し、経営的にもうまくいくという希望を持っている。苗場の整備についても、有明海の再生交付金等の活用も含めたところで前向きに検討していきたい。



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

### 物価高について

市長 国・県の制度も最大限活用しながら、迅速かつ的確な支援を行う。



林田 久富 議員

### 本市の支援について

議員 本市の子育て世帯はどれだけあるのか尋ねる。

市長 高校生世代以下の子どもがいる世帯は、令和8年2月時点で2,665世帯で、およそ15%の割合となっている。(全国18・3%)

議員 子育て世帯への支援は現在どのようになっているのか尋ねる。

福祉保健部長 主な取組は、子どもの医療費の助成、保育料の第2子以降の無償化、小児科医、産婦人科医や助産師にオンライン

### 物価高騰について

議員 本市の現状について尋ねる。

地域振興部長 本市でも全国と同様に市民の生活に物価高の影響を受けている。

議員 物価高への支援策について尋ねる。

総務部長 消費喚起クーポン券事業を実施した。

### その他の質問

○農業振興について

○高規格道路について



### 口之津公民館のバリアフリー化について

教育次長 令和9年度中に方向性を示せばと考えている。



田中 克彦 議員

### 口之津公民館のバリアフリー化について

議員 口之津文化協会から口之津公民館エレベーター設置についての署名を添えた要望書を受け取られた市長として、市民の声をどのように受け止められたのか。

市長 皆様の切実な思いを感じるとともに、誰もが安心して学び、集える場であるべき公民館において、全ての市民の皆様が安心して利用できる環境を整えることの大切さを改めて認識したところである。



口之津公民館

議員 同公民館のバリアフリー化について、市として合併後の施設整備の公平性や地域バランスの観点から、どのように位置づけられているのか。

教育次長 公共施設等総合管理計画に基づき、施設の安全性や必要性、利用状況等を総合的に勘案し、地域のバランスにも配慮しながら、その在り方を検討していく必要があると認識している。

議員 これまでに構造上の課題や費用などについて具体的な検討や内部協議が行われてきたのか。

教育次長 当該公民館の構造的条件、安全性、エレベーターの設置の可能性及び概算費用等について、調査を進めるよう担当課に指示をした。

### 公共施設オンライン予約システムについて

教育次長 2月5日からオンライン申請ができるようになった。



松本 添花 議員

### 不登校児童生徒へのオンライン授業について

議員 本市において、オンライン授業や家庭でのICT学習を出席扱いとした事例はあるか。また、出席扱いとする際の判断基準や手続きはどのような整理されているか。

教育長 出席扱いとする場合、保護者と学校が十分に話し合い、学習内容が当該児童生徒にとって有効・適切であるかどうかを吟味した上で決定する。要件として、保護者と学校との間に十分な連携・協力関係が保たれて

いること、定期的・継続的な対面指導が行われていること、当該児童生徒の学習の理解を踏まえた計画的な学習プログラムであることなどがある。このような要件を満たしていることを確認した上で、保護者と十分な協議を行い、校長の判断により決定する。出席扱いとした事例はない。

### 通学路について

議員 有家、県道132号線についての今後の対策は。

教育次長 歩道の拡張等ではないのが現状。県道であり、島原振興局がグリーンベルトの設置に向けた準備を進めている。

議員 自転車歩行者専用道路と市道の交差点での安全対策は。

建設部長 長崎県公安委員会と協議を重ね、対策を実施している。交差点であることを認識していただくため、四角のベンガラ色の枠を表示し、通行車両への注意喚起を促

### 未来世代に向けた市政の方向性について

議員 若者の意見をどのような形で把握して、市政に反映してきたのか。

市長 総合計画策定時に市民の意識、市政全般に関することについて、市内在住の18歳以上の方を無作為に抽出しアンケートを実施している。また、市内高校生との連携事業として、将来のまちづくりについて語り合うワークショップや、市政懇談会などを実施し、若者の柔軟な発想を取り入れている。

議員 10年後20年後の南島原市を担う世代に対し、市長は「何を残した市政だった」と評価されたいと考えているのか。

市長 未来世代から「挑戦の土台を築いた市政だった」と評価されることを目指している。未来世代の挑戦を支え、皆様が主役となり、輝ける舞台を整えることが私に課せられた使命と感じている。



質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

### 防災課における女性職員登用について

議員 内閣府や総務省が防災分野における女性参画を明確に推進しているが、市長の見解は。

市長 職員の配置については、男女問わず適材適所が基本。女性が適任だと考えられる場合は、必要に応じて検討していきたい。

議員 副市長の見解は。

副市長 女性ならではの視点もあると思うので防災組織づくりの中で、女性の配置も視野に入れていきたい。



中学校で利用されているタブレット端末